

わたしたちの地区のまちづくり活動を紹介します

丸森地区協議会 みんなが主役のまちづくり

【連絡先】丸森まちづくりセンター
☎0224-72-1683

■地域の和づくり

丸森地区別計画に基づき「あぶくまの恵み・太古の歴史・豊かな自然にかこまれた活力ある丸森」をスローガンに、丸森地区の歴史・自然・風土・産業の特性を生かした特色ある地域づくりの推進を目的として、地域の皆さんと協力し合い、コミュニティの活性化を図りながら事業を展開し地域の和づくりを進めています。



■少子化と高齢化の対策

人口減少が進む中、特に少子化と高齢化に対して、現実的にどんな対策が丸森地区として必要か、何ができるのか、皆さんとのコミュニケーションが必要不可欠と考え、今後地区ごとの話し合いの中で、できることから進めて改善を図りたいと考えています。



■美しい街並みと笑顔のある町

丸森地区は町の中心部に位置し、暮らしやすい地域もあります。地区住民と共通認識を図りながら、街並み・景観や観光PR活動を少しでも改善し、観光客がまた訪れたいくなるような笑顔のあるまちづくり・人づくり等に取り組んでいきます。

金山自治会 みんなが住み続けたい魅力あるまち金山

【連絡先】金山まちづくりセンター
☎0224-78-1121

■金山地区別計画事業の実践

「あいうえおの里・金山」の考え方を引き継ぎ、これから展開すべき事業を盛り込んだ「金山地区別計画事業」を令和4年度から展開しています。交流・歴史／地域・安心／安全の3本柱から具体的なイベントへ繋げ、「みんなが住み続けたい魅力あるまち金山」を目指します。



■小学校跡地活用とお館山石垣の修復

閉校した金山小学校跡地の活用が課題です。地区の検討委員会を立上げ、アンケートを実施し、住民の声を聞くなど、議論を深めています。住民の総意を町に提案し、賑わいある活用に繋がればと考えています。また、金山のシンボル「お館山の石垣」が令和4年3月の地震で一部崩落しました。自治会等連名で町に陳情書を提出しました。



■継続的なイベント実施に向けて

本年6月に、地区住民意識調査を実施し、たくさんのご意見をいただきました。分析結果からも、ここが「ふる里」だ、という思いは強いと感じられました。ここ数年、災害やコロナ禍で中止や縮小したイベントがありましたが、まずは全部やり切ることを優先していきます。そうした地道な取組が、結果的に住民主体のまちづくりに繋がっていき、住み続けたい魅力あるまちになっていくのではないかと考えています。

(一社)筆甫地区振興連絡協議会

いつまでも安心して暮らせる「悠久のふるさと」づくり

■目の前の課題に向き合って

町内で最も人口減少と少子高齢化が進む筆甫は、地域課題が多く年々深刻化しています。地域の暮らしを守るため、獣害対策の箱罾設置、耕作放棄地対策の営農事業、買物対策の「ひっぽのお店ふでいち」・「移動販売事業」、暮らしを支える「ひっぽお助け隊」など、皆さんが「暮らして良かった」と思える地域づくりに取り組んでいます。

■人口減少に即した地域のあり方を考える

地域活動の担い手不足などが深刻な課題です。限られた人口の中で地域を運営していくため、既存の組織のあり方や、会議や行事の見直しなどを進め、人口減少に即した地域のあり方を考えています。

■住民一人ひとりの暮らしに寄り添って

小さな地区だからこそ、住民の皆さんの暮らしに寄り添った事業が必要だと考え、昨年度開始した「お弁当配達サービス事業」や、高齢者の移動手段の確保など、住民一人ひとりの生活を支えていく取組を行っていきます。

【連絡先】筆甫まちづくりセンター

☎0224-76-2111

**大内地区協議会**

明るく住みよい「歴史の里 おおうち」

■豊かな自然と伝統文化の保存継承

豊かな自然を大切に、先人が残してくれた有形、無形の文化財など大内の歴史を知り、文化を保存継承し、新たな歴史に向かい心身共に活力ある大内の里づくりをモットーに事業に取り組んでいます。毎年9月には、日本を代表する民謡歌手の鈴木正夫さん^{すずきまさお}生誕の地として「新相馬節全国大会」を開催。また、丸森小学校のふるさと学習では、子どもたちに民謡「新相馬節」や「青葉の田植踊」の保存継承を行っています。

■少子高齢化の時代、高齢化率のさらなる増加

少子高齢化時代、今後も高齢化率は年々上昇し、さらに増える高齢者の一人、二人世帯の方々の暮らしを守ることや健康に安心して生活していくにはどうすべきかなど、生きがいのある地域づくりを考えていく必要があります。

■大内地区住民が「しあわせ」と「ゆたかさ」を感じられる事業

コロナ禍で中止していた、地域住民の交流の場であるお茶飲み会が再開されるようになりました。地域の方々が集いお互いに声がけるコミュニティーづくりの一つとして、大内地区住民が楽しく「しあわせ」と「ゆたかさ」を感じられる取組を進めていきます。

【連絡先】大内まちづくりセンター

☎0224-79-2004



わたしたちの地区のまちづくり活動を紹介します

小斎振興協議会 日本一おいしい米づくりの里

■地域資源を活かして元気で楽しく！

地域の歴史や文化、伝統、そして美味しい米のできる田を守り育て、これらを活かして元気で楽しく暮らせることを目指しています。380年続く町無形民俗指定文化財「奉射祭」、地域の方のお囃子によって仮装を凝らして踊る「小斎盆踊り大会」、地域の芸術家たちの作品を展示する「みんなの作品展」、美味しい米を作る農地や農村環境を守るための保全隊事業などを行っています。

■人口減少社会への対応

人口減少、少子高齢化が進む中で、これまで地域住民が協力して行ってきた様々な共同作業を行うことが難しくなっています。また、美味しい米を育てる農村環境を守ることも、農家だけでは大変になっています。

■地区住民が共に助け合う

おいしい米づくりの里を守るために取り組んでいる小斎保全隊広域協定を、行政区単位の活動が難しくなった場合は地区一本での活動にしていくこと、人口減少社会の中でも取り組むことのできる共助による地域経営を目指していきます。

【連絡先】小斎まちづくりセンター
☎0224-78-1111



館矢間地区協議会

楽しみややりがいを感じられる地域にしよう

■すくすくいきいき ゆうゆう たてやま

「子どもたちがすくすく育つ 安全で安心できるまちづくり」「青年・壮年がいきいき活躍する 活力あるまちづくり」「高齢者がゆうゆうと暮らす ふれあいとうるおいのあるまちづくり」の3つの基本方針をもとに活動しています。

春と秋の「たてやまいち」での地場産品等の販売、自主防災組織体制の強化、生涯現役を目標とした健康づくり、安心で健康に暮らせる地域を目指して活動しています。

■いつまでも安心・安全に暮らせるように

館矢間は阿武隈川に接し、西部を除き平坦な地形のため、水害時の避難場所が少ないという課題があります。平時から住民一人ひとりが避難場所を確認するなど、防災意識の向上と防災対策強化に取り組む必要があります。

■世代間交流を深め郷土愛を育む

普段何気なく見ていることも違う視点で見るときっかけがあると、新たな発見につながる可能性があります。丸森町そして館矢間地区にもよく見てみると素晴らしいところがたくさんあります。特に子どもたちには自分の足で歩いたり、地域の人々との交流など、自分の住んでいる地域を知る機会を作ってあげたいと考えています。

【連絡先】館矢間まちづくりセンター
☎0224-72-2120



大張自治運営協議会 やってみっぺ大張

■大張地区復興盆踊り大会

毎年夏のイベントとして、旧大張小学校を会場に盆踊り大会を開催。台風災害やコロナ禍により令和2年度から3年間は地区の皆さんから協賛をいただき、復興花火大会に切り替え開催しました。令和5年度は、各団体や子どもたちの協力もあり、4年振りに旧大張小学校体育館で盆踊り大会を開催しました。地域の若手が飲食店を出店し、和気あいあいと真夏の一夜を満喫しました。

■人口減少、少子高齢化、催事協力者の育成

大張では近年、毎年20人～30人ほどの人口が減っているほか、世帯数も10戸程度減少しています。催事にあたり、女性の協力が主力でしたが、各婦人会が解散したことで、今後どのように協力を得るかが課題です。

■みんなの大張っ子レストラン

小学校の再編により、子どもとふれあう機会が減ったことから、令和5年度は長期休み期間中に開所される児童クラブの子どもたちを招いて、地元の方々から提供された食材で、食生活改善推進委員会が調理したお振舞い事業「みんなの大張っ子レストラン」を開催しました。

【連絡先】 大張まちづくりセンター
☎0224-75-2124



耕野振興会

伝統と躍動、調和のとれた耕野の地域づくり

■特色ある地域づくりを目指して

耕野では、地縁団体の庶務・会計の一本化や、これまで行われてきた従来からの地域活動を行いながら、ザンビアとの国際協力交流事業や援農ボランティアによる農産物生産支援・販売など、新たな事業に挑戦しています。

住民が、耕野に暮らして幸せだと思える地区を目指して事業に取り組んでいます。

■過疎化による地域活動の衰退

地域活動の参加者の減少やリーダーの高齢化などで地域運営が困難になり、新たなメンバーの獲得が難しくなっています。また、住民ニーズや関心に合わない活動内容や場所の設定も、参加意欲を低下させる要因となっています。地域全体で支え合い、柔軟な対応が必要となっています。

■新たな活動拠点整備による地域の維持

旧耕野小学校をまちづくりセンターと併せた新たな交流・活動拠点として整備し、地域住民だけでなく外部人材の力をお借りしながら、地域課題の解決のための活動を行い、持続可能な地域づくりを目指しています。

【連絡先】 耕野まちづくりセンター
☎0224-75-2134

